

第47回「兵庫県少年剣道の集い」 志染SSDがベスト16に!!

去る6月22日(日)に神戸市立王子スポーツセンターに於いて、第47回「兵庫県少年剣道の集い」が開催された。伝統ある大会で、県下全域から101チームがエントリーし、三木からは志染SSD、三木中央、緑が丘SSD、吉川剣道少年団、自由が丘少年剣道教室の5団体が参加。この大会の特徴は、予選リーグで、1チーム5人による基本団体試合と一本勝負を行い、計10人の勝者数・総本数の順で勝ちチームを決定し、その後、決勝トーナメントが行われるというところ。三木市から参戦した4チームは、善戦しながらも惜しくも予選リーグを突破できず。

その中で唯一、志染SSDが、丹波市剣道連盟、八幡剣友会を下し、予選リーグを突破した。対戦相手は、両チームとも高学年を主体とし、技も気も充実したチームだったが、志染は基本団体試合で優位に試合を進め、勝ち抜くことができた。

志染は、先鋒に中西涼風、次鋒・平井優太郎(2試合目より照井葉生)、中堅・栗田真之助、副将・中西汐菜、大将・大前史央の布陣で臨み、1試合目から良く声も出

て、竹刀も振れており、それぞれの力を発揮できたと感じる。決勝トーナメントでは、宝塚安



整列する志染の選手。左から中西涼、照井、栗田、中西汐、大前の5人

倉会に2(4)―1(3)で勝利した。続いてベスト8をかけた尼崎剣道連盟に対しては、前に出る剣道が出来たものの、残念ながら0(1)―4(7)で完敗。ベスト16という結果だった。

新チームとなって初めての大きな大会だったが、思い切った技が随所に出、今後に弾みがつく試合が展開できた。

(報告 栗田良之助)

第21回ふれあい剣道錬成大会実施される 於吉川町総合運動公園

若葉の鮮やかさと梅雨の雨とが交差する7月13日、第21回ふれあい剣道錬成会が吉川町総合運動公園で催されました。

早朝より高学年32チーム、低学年21チームの少年剣士たちが雨の中集まって一日中汗を流しました。三木市内の各教室の少年剣士たちも先生方の指導の成果を発揮し、各リーグとも好成績を残すことができ、錬成会の最後に全員での合同



稽古で締めくくりました。ふれあい錬成会の目的の一つである、『各団体との交流』もさらに深まったのでは、と感じています。



この季節で心配なのが熱中症です。対策として冷房を入れ、ケガ等にも対処できるよう本部に救護所を設け運営に当たりましたが、幸い何事もなく無事に一日を終えることができました。

今後少年剣士たちのために尽力できれば幸いです。ありがとうございました。

(報告 濱名 学武)